

# 介護従事者負担軽減 事業助成

厚生労働省では、介護従事者の介護負担の軽減を図る取り組みが一層推進されるよう、事業者負担が大きい介護支援機器の導入について特別に支援するため、介護支援機器を介護保険施設・事業所へ導入する際の費用を助成することとしました。

新宿区ではこの助成金を活用し、区内6法人に対し助成し、介護従事者の介護負担軽減を目指します。

今後ますます高齢者の増加が見込まれる一方、介護人材不足が問題視されています。この機会を捉えて区内事業者の導入経費の軽減とともに、介護支援機器の使用により得られる業務効率化や職場改善等の効果を把握します。



効果測定期間:3年間

介護時間の短縮

身体・精神的負担の軽減

業務の省力化

介護従事者の満足度 など

介護現場に介護支援機器を導入して得られる改善効果を把握し、今後のあり方を検討します。

## 助成額

予算額 5,562千円(1法人につき上限927,000円)

■助成金は全額国庫補助金を活用します。

■実際の購入額が上記の金額を下回った場合は、購入にかかった金額を助成します。

## 助成対象となる介護支援機器

### ①移乗支援機器

#### 主な効果

■介護人材の離職理由として挙げられる「腰痛」の対策として、介護従事者の筋力補助を促すことにより、腰部負担軽減や疲労感の減少につながります。



### ②見守り支援機器

#### 主な効果

■ナースコールの正確な通知により、利用者の状態をナースステーションから一元的に確認でき、効果的な駆けつけを行うことで介護従事者の負担軽減につながります。



ベッド上で起き上がったときにナースコールに通知します



ベッドから離床したときにナースコールに通知します

※このほか寝返りや端座位等でも通知が可能。

【移乗支援機器・見守り支援機器の中には、上記写真やイラスト以外にも対象機器があります】